

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調査（兼政策評価基礎調査）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	28
基本施策	8	子育て・子育ての充実	評価責任者	保健福祉課長 山崎 佳之
単位施策	3	少子化問題への対応		保育所長 豊田 通敏

1 施策の概要

基本方針	子ども時代から「結婚や子どもを持つこと」の大切さ、喜びなどを積極的に啓発するとともに、国・道などと連携しながら、出産や子育てなどに関する経済的支援を推進する。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	「子育て」の喜びを感じ、子どもと親が共に成長していくためには、育児に対する不安等を軽減し生き生きとゆとりを持って子育てができる地域作りを進めている。	本町の出生人口は、総人口が年々減少しているのに比して、ほぼ横ばいの状況が続いており、減少傾向にはない。町では、子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担及び子育てに対する不安を軽減するよう努めている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	少子化が進む中、安心して出産・子育てができる地域・環境づくりのための各種母子保健事業及び経済的負担の軽減をしていくことが重要である。	この政策が子どもを産み育てるインセンティブにどう働いているのか、また、子育ての負担感が緩和されているのかを他の政策と併せて検証するとともに、具体策として子どもにかかる医療費負担減の拡大を図る必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	「子育て支援」全体の満足度						
	定義等	まちづくりアンケート等により「満足」「やや満足」と回答した者の比率						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	16%（H18）	未調査	未調査	未調査	22.20%		40%
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	乳幼児医療費助成事業	社会福祉係	4,510	A	継続／拡充	A
②	児童手当支給事業	社会福祉係	0	A	継続／内容の見直し・変更	A
③	子ども手当支給事業	社会福祉係	70,965	A	休止	A
④	【再掲】子育て支援拠点事業	児童保育係	740	A	継続／現状維持	A
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	子育て、子育ての充実のため、育児に対する不安等を軽減し、子育てができる環境づくりを推進することは妥当である。
② 有効性	A	子育て支援、少子化対策としては、子育てができる地域、環境づくり及び経済的支援は、有効な施策である。
③ 効率性	A	子育てができる地域、環境づくり及び経済的支援は、効率的な施策である。
④ 公平性	A	子育てができる環境づくりは、対象者に周知し、経済的支援も対象者全員に支援しており、公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	子育て支援は、参加者からの意見を聞き、経済的支援も申請時に意見等を聞き、支援している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
子育てに対する経済的支援を充実させており、保育所における保育料の大幅な減額などと合わせると、本町の子育て世帯の経済的負担は緩和されていると思われ、安心して子を産み育てる環境が整いつつある。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続／拡充	継続／拡充	
人口減少が進む本町にとって、今の出生数を維持又は拡充していくためには、子育てがしやすい町を目指した事業の拡大が必要と考えている。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		